

# 恭賀新春



大竹市長  
入山 欣郎

## チャンスのあるまち 可能性のあるまちへ

新年、明けましておめでとうございます。  
市民の皆さまには、輝かしい希望に満ちた新春を健やかに迎えのことと、お慶び申し上げます。  
世の中は、発展へのはつきりとした明るい光が見えないなか、国民全体が力を合わせて進んでいこうという気運がなかなか出てこない状況にあります。これは、国の将来を考えたとき、今後、働いて社会を支えていく世代が激減し、高齢世代の比率がますます高まることによる負担増への不安からではないでしょうか。国民の多くが、

このことに気付きながら、解決しようという覚悟を共に持つには至ってはおりません。市民の皆さまもすでに認識されていることと思います。

このような状況のなか、地方は地方で工夫を凝らし、大竹市を将来にわたってチャンスのあるまち、可能性のあるまちへと前進させなければなりません。

魅力あるまちづくりは、行政の力だけではできません。市民の皆さまが主体となってまちづくりを行う『市民自治』の力も必要です。課題解決への覚悟と役割をお互いに共有し、一步一步、確実に前に進んでまいりたいと考えています。

私たち行政も、市民の皆さまが高齢になっても健康でお元気で活躍できる風土づくりに取り組み、笑顔・元氣、かがやく大竹、住みたい、住んでよかったと思えるまちづくりを目指してまいります。引き続きまして皆さまのお力添えをお願いいたします。

本年が皆さまにとって平穏で素晴らしい年でありませう、心からお祈り申し上げ、新年のごあいさつとさせていただきます。



大竹市議会議長  
西川 健三

## 市民目線に立った 政策判断を

新年、明けましておめでとうございます。  
市民の皆さまには、輝かしい希望に満ちた平成25年の新春を健やかに迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

さて、日本経済は、長引くデフレや原発事故がもたらした電力安定供給への不安、欧州債務危機による世界経済低迷などから依然として、厳しい局面が続いております。

こうしたなか本市におきましては、4月には小方小・

中学校の開校が予定されており、もうすぐ子どもたちのにぎやかな声が聞かれることになると思います。また、それに伴い学校の跡地利用などを含めた小方のまちづくりやさらには大竹駅東口や玖波駅西口の整備など今後の大竹市のまちづくりにとって大変重要な課題がございます。

市民の負託を受けた議員一人一人は、さまざまな考え方もっております。16人の議員全員がそれぞれ市民の代表として市民目線に立った政策判断を行い、今、取り組むべき課題が何であるかを常に考えながら、「わがまちおおたけ」の将来に向かってしっかりと議論をしなければならぬと考えているところでございます。

今後とも、市民の皆さまのこれまで以上のご支援ご協力を心からお願ひ申し上げますとともに、この1年が市民の皆さまにとって幸多い年となりますことをお祈り申しあげまして、新年のごあいさつといたします。



蛇喰岩 Jyakuji-Iwa

県天然記念物指定。栗谷町の小瀬川と玖島川の合流点にあり、長年の浸食で河床の岩盤が大小無数のおう穴に形造られている。霊峰三倉岳の大蛇が磐を喰ったとも言われ、「蛇喰岩」と呼ばれるようになった。また、これらおう穴の中には「水の穴」、「風の穴」、「火の穴」と呼ばれる水神釜があり、不思議なことにどんな炎天下でも減ることがなく、もし誤ってこの釜をかき混ぜると、たちまち風雨になると言われ、村人たちは釜のそばに近付かなかつたという伝説がある。また、浅野藩時代には、干ばつの雨乞いの場所であったことも知られている。